

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年度			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	06 スポーツ・レクリエーション
事務事業名			02 スポーツ推進事業
			問合先
			担当課(室)
			職・氏名
			電話
			63-3813

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	各種競技団体・スポーツ愛好者・健康維持を目的にスポーツに親しむ人
目的(何のために)	各種競技団体の組織強化と活動の活性化のための事業に対し、積極的に支援し、スポーツの楽しさを味わうとともに、市民が健康維持のために年齢や適正に応じ、また地域や職場等の実態に合ったスポーツ活動に取り組めるよう、気軽にスポーツのできる機会や情報を提供する。
行政活動(どのような方法で)	社会体育団体の育成を行う。 総合型地域スポーツクラブの育成と市民への啓発を行う。 社会体育研修会等の各種研修会を実施する。 スポーツ教室・スポーツ大会を実施する。 スポーツ拠点づくり推進事業を実施する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各種団体の組織強化を行うため。 市民への周知をし、クラブが行う活動への参加者を増やすことと気軽にスポーツができる環境を整えるため。 指導者又は市民が、健康維持とスポーツに対する知識を高め、資質の向上を図るため。 技術の向上と個人の適正にあった娃スポーツを見つけ出すため。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
社会体育研修会・スポーツ研修会	人数	405	203	469
スポーツ教室開催事業	人数	4,744	3,000	2,044
スポーツ拠点づくり推進事業	人数	44	44	48
スポーツ大会開催事業	人数	5,770	2,605	1,738

事業費				
直接事業費	千円	2,663	2,797	1,237
必要人員人件費	千円	3.39人	2.32人	1.03人
事業費計		23,799	17,860	7,013

結果指標				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
社会体育研修会・スポーツ研修会	説明	スポーツの指導者・各種の競技者等を対象とした研修会を開催する。		
結果指標量	人	405	204	469
対前年比	%	-	50.4%	229.9%
活動コスト	円	-	-	-
単位当たりコスト	円	0	0	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
研修会・スポーツ教室・各種スポーツ大会への参加者数	目標値(A)	10,000	10,100	10,200	11,000
	実績値(B)	10,919	5,853	4,299	到達目標年度
	達成率(B/A)	109.2%	58.0%	42.1%	平成23年度

成果指標設定の考え方・式や説明

指数は参加者数が増える方が望ましい。

事務事業の評価			
市民の関与の 受 当 性	市	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A-E> B 判定理由・課題認識 市民の健康維持のために各種団体の組織強化のために事業開催に対して積極的に支援をしていきたい。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の 手 段	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A-E> B 判定理由・課題認識 コスト削減の努力を続けると共に、受益者負担の原則を理解してもらい、参加者には応分の負担をしていただく。(スポーツ教室の参加費:2,000円)
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A-E> B 判定理由・課題認識 研修会の参加により、市民のスポーツに対する資質の向上に努める。また、各種大会を開催し参加することでスポーツの楽しさを知り、底辺の拡大にも努める。

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	600	結果指標量	6,000	成果指標量	10,300	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	指導者育成に重点をおいた研修会と、各地域ごとで参加できるスポーツ教室を開催する。					

総合評価	
市民が健康で明るい生活をおくるためには、気軽にスポーツに参加できるスポーツ環境を整える事が必要であるため、スポーツ教室や各種大会を開催する。また、研修会を開催することにより、スポーツに対する資質の向上することを期待するが、市民のニーズにあった企画をし多くの参加者を募る必要がある。	評価区分 <A-E> B

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	年度の状況で大会・教室等の見直しをする必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	有効性	年度ごとに市民のニーズを把握し有効な事業の展開が必要である。	毎年	市民の健康維持とスポーツの推進		